



京都府への立地を生かして発展する企業をご紹介します。

〈京都新光悦村〉

株式会社三浦商会 <http://miurashokai.com/>

代表取締役 三浦 正勝氏

銀の輝きを大切に 美しく強い金銀糸をつくる「純銀蒸着フィルム」を製造

京都の伝統産業を支える金銀糸の原料となる、銀蒸着フィルムを製造販売する株式会社三浦商会。「伝統と先端技術の融合による新しいものづくり」をコンセプトに企業集積が進む「京都新光悦村」の同社工場にて、代表取締役 三浦 正勝氏にお話を伺いました。

金銀糸の移り変わりと共に

当社は1870年の創業です。金沢で金箔の製造、販売を始め、以来、金箔製造の機械化を完成させたり、アルミ箔の国内での製造を始めたりと、伝統技術を大切にしながらも、新しい技術を取り入れてきました。現在の会社設立は1965年です。主に金箔や金銀糸を取り扱う商社として、この時、拠点を京都市内に移しました。

京都の金銀糸は、主に西陣織向けとして発展してきましたが、和装産業が縮小する中、現在では洋服やシューズ、カーテン生地等での利用が増えています。近年、特に伸びているのが、海外の民族衣装や装飾品の刺繍用です。

また、金銀糸の製造方法も変わってきています。伝統的工法では金箔や銀箔を用いて作られますが、現在では、当社が製造しているようなポリエステルフィルム(PETフィルム)に金属を蒸着したのから作る工法が一般的となっています。

新光悦村で銀蒸着フィルムの生産を開始

銀蒸着フィルムの自社生産は、2010年、京都新光悦村での京都工場新設を機に開始しました。それまで商社として取り扱っていた、三菱伸銅株式会社の機器や技術を受け継いだものです。現在、月数十巻程度を製造しており、年商約3億円の半分程度を中国や韓国、北アフリカやヨーロッパ等への輸出が占めています。

京都新光悦村への立地については、京都府と南丹市から熱心に誘致いただいたこと、高速アクセスの良さ等から決めました。4年前からは、沓掛ICと大山崎JCTが繋がったことにより、協力工場がある城陽市までのアクセスが更に便利になり、喜んでいきます。

材料へのこだわり

一般的には、蒸着フィルムに使用する材料は、アルミニウムが圧倒的に多いです。コスト面からのことですが、性能面でも色合いでも銀には劣ります。酸に弱いため、加工上の制限が多くなります。また、銀のほうがより白く、製糸して刺繍等に加工すると違いが鮮明です。

こうした理由から、銀が使用され、通常は99.9%(スリーナイン)の純度のものが使われます。当社では更に高純度の99.99%(フォーナイン)の国産銀を使用しており、これにより美しさと丈夫さを確保するという当社のこだわりで、「純銀蒸着」と呼んでいます。

また、金糸用には金が使用されることもありますが、コスト面から普及していません。そのため、色層を加えることによって金色の色目を出すのが一般的で、当社でも銀蒸着フィルムに色層を加えた製品を多く扱っています。

技術の強み

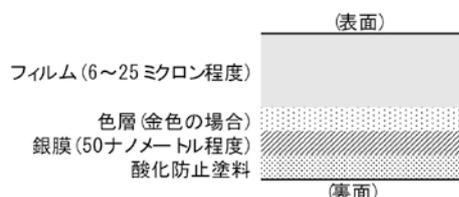
製糸工程上、銀蒸着フィルムは幅0.5mmにも満たない細い紐状に裁断

されて芯糸に巻き付けられますので、膜厚のムラや密着度の違いがあると、引っかかりや切れの原因になります。そのために、銀を均等に、しかも、しっかりと密着させることが重要です。幅600mm×長さ12,000mという広い面積で均等の品質を確保できてこそ、強い糸を作ることができます。

そこで、ポイントとなるのが、PETフィルムの予備乾燥と、真空状態で銀の付着です。

真空状態で、銀を

蒸発させて、浮遊した銀をPETフィルムに付着させるのですが、銀の沸点、融点を下げ、空気中のちりやほこりの付着と酸化による変色を防ぐために、高真空にする必要があります。膜厚は、真空の度合いと銀の蒸発量、フィルムの回転速度等の影響を受けますので、材料や機械の状況を見極め、不具合に素早く対応できる「人の技術」が重要です。



銀蒸着フィルムの構造イメージ

製造工程



金糸製造の各段階
銀蒸着フィルム(奥)は2段階で細い紐状に裁断され(左、中)、擦糸される(右)。手前は加工品(刺繍)。

銀の輝きを大切に、用途を拡大

「新しいもの、世の中にないものをつくり出していこう」と設置したのが、この京都工場です。10年先も栄えるためには、常に複数の柱を持つことが大切だと考えており、光学用フィルムや印刷用転写箔等、用途の拡大や新製品開発を進めています。当工場は規模が小さい分、機動性があり、小ロットへの対応も容易です。銀の輝きを大切に、これからも、高品質な製品を京都新光悦村から送り出していきます。

Company Data

株式会社三浦商会

- 代表者/代表取締役 三浦 正勝
- 所在地/本社 〒604-8402 京都市中京区聚楽廻西町186-20
電話/075-801-9151 ファクシミリ/075-801-9153
- 創 業/1870年 ●設 立/1965年
- 資 本 金/3000万円 ●従 業 員/14人
- 事 業 内 容/金銀糸用銀蒸着フィルム製造・販売 他

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL:075-315-8635 FAX:075-315-9497 E-mail:kikaku@kptc.jp